

人形浄瑠璃

シアターマド 開館を寿ぐ
二人三番叟

プロローグ

文楽の世界へ

ようこそ

司会進行

白井 美由紀「フリーアナウンサー」

梶 剛「香川県住みます芸人」

※演目は変更になる場合があります。

傾城阿波の鳴門

順礼歌の段

撮影=佐藤美幸

文楽

令和8年

9月27日[日]

14時開演[13時30分開場]

シアターマド(丸亀市民会館) 小ホール

ご観劇料(税込・全席指定) 一般:3,500円 U-18:1,000円

※就学前のお子様はご入場いただけません。 ※U-18チケットはシアターマドのみの取扱い。公演当日時点で18歳以下の方が対象です。入場時に生年月日が確認できる証明書をご提示ください。

※障がいのある方お1人につき介助者1名一般料金の半額。入場時に障害者手帳をご提示ください。 ※介助者割引、車椅子席をご利用の方は、シアターマドまでお問い合わせください。[TEL.0877-89-5877]

[チケット発売日と取扱いについて]

MAdoメンバーズ先行販売(先着・WEBのみ) 7月21日(火) 9:00~7月27日(月) 23:59

一般発売: 7月28日(火) 9:00~(電話・WEB) ※シアターマド、アレックス窓口での販売は7月29日(水) 9:00~

[チケット取扱い]

マドチケット(シアターマドチケット専用番号)

TEL:0877-89-5877

丸亀市綾歌総合文化会館(アレックス)

TEL:0877-86-6800

WEBでの購入はこちらから▶
シアターマド公式サイト


託児サービスあり(有料・1名1,000円)

対象:6ヶ月(首がすわっていること)~小学校入学前のお子様

※公演1週間前までにシアターマド(0877-89-5877)へお申込みください。

第一部

人形浄瑠璃

文楽 BUNRAKU

二人三番叟

にんさんばそう

鈴の音とともに、舞い踊る祝いの祈り。天下泰平と五穀豊穡を願う「三番叟」は古くから晴れの席で演じられてきた祝祭の芸能。シアターマドの開館を寿ぎ、二人の三番叟が賑やかに舞います。

出演者

※出演者は変更になる場合があります。



太夫
豊竹 若太夫



太夫
竹本 小住太夫



太夫
豊竹 薫太夫



三味線
竹澤 團吾



三味線
鶴澤 清允



三味線
鶴澤 清方



人形
豊松 清十郎



人形
吉田 文哉



人形
桐竹 紋秀



人形
吉田 玉勢



人形
桐竹 紋吉



人形
吉田 玉延



人形
豊松 清之助



司会(第一部)
白井 美由紀



香川県住みます芸人
(第一部)
梶 剛

傾城阿波の鳴門 順礼歌の段

けいせいあわのなると
じゅんれいうたのだん

親を探し順礼の旅を続ける少女おつと、その身の上に心を寄せる一人の女性。母娘の切なる情愛を描いた文楽屈指の名場面。太夫の語り、三味線の響き、人形の繊細な表現が一体となり物語を鮮やかに描き出します。

第二部

同日
開催

人形浄瑠璃 文楽ワークショップ

～太夫・三味線・人形、いろいろ体験!～

ユネスコ無形文化遺産「文楽」の世界を、太夫・三味線・人形の体験を通して楽しむワークショップ。文楽を構成する三つの専門職に間近に触れる、なかなかない機会です。



イラスト=中西らつ子

2026年9月27日(日)

11時～12時30分[開場10時30分]

会場:シアターマド(丸亀市民会館)小ホール

料金:500円(税込) ※就学前のお子様はご入場いただけません。

お申し込み方法:詳細はシアターマドHPまたは

お電話にてご確認ください。(TEL.0877-89-5877)



ワークショップ
お申し込み

お問い合わせ | CONTACT

公益財団法人 丸亀市福祉事業団

シアター マド
THEATRE MAdo(丸亀市民会館)

〒763-0034 香川県丸亀市大手町二丁目3番1号

TEL.0877-89-5877

[受付時間] 9月5日まで/平日 9:00～17:00

9月6日から/9:00～17:00(火曜休館、祝日の場合は翌平日休)

<https://marugame-theatre-mado.jp>

MAdoメンバーズ登録受付中!

ご登録はシアターマド公式サイトから▶



シアターマド
公式サイト



公式
Instagram



公式X

会場アクセス | ACCESS



●JR丸亀駅から徒歩10分

●丸亀コミュニティバス

すべての路線でシアターマド前までお越しいただけます。

お客様用の専用駐車場はございません。

ご来場には公共交通機関をご利用ください。